職業実践専門課程等の基本情報について(新カリキュラム)

学校名_		設置認可年	月日	校	長名	₹ (060-0063	所在地			
吉田学園医療歯科							札幌市中央区南3条	:西1丁目11-1			
設置者名		設立認可年	月日	代表	表者名		060-0063	所在地			
学校法人吉田	学校法人吉田学園 昭和53年10月31日 吉田 祐樹 (住所) 北海道札幌市中央区南39						区南3条西1丁目15番	地			
分野		認定課程名		認定学科	名		011-272-6070]士認定年度	高度専門士認定	2年度	職業実践	. 隻専門課程認定年度
医療		専門課程	医療	事務クラー	-ク学科		28(2016)年度	-		成27(2015)年度	
学科の目的	本学科は、 る。	社会における医療体	本制を充実さ	せ、地域社会	会に貢献するが	こめに、豊か	な教養及び専門的な	知識と技術を備えた優	れた医療従	事者を育り	成することを目的とす
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		青求事務能力認定記 中退率:4.55%	は験、 医事コ	ンピュータ技	技能検定試験3	級					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業 単位数	寺数又は総	講	轰	演習	実習	実	!験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入		単位時間	814~934 -	単位時間 単位	436 単位時間 - 単位	210~ 481 - 単位		単位時間単位	30~180 単位時間 - 単位
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留学:	生数(生徒実員の	の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				•
80 人	19	Д	0	人	0	%	0 %				
	■卒業者		:	9		<u> </u>		_			
	■就職希		:	8							
	■地元就	職者数(F)		5		人					
	■就職率	(E/D) に占める地元就職者	の割合 (F/F	100		%					
				63		%					
	■卒業者	こ占める就職者の割	合(E/C)	89		%					
就職等の状況	■進学者	数		0		Ž					
., vorput, vy pv pv pv	■その他										
	(令和 ■ ナ か計		者に関する令	和7年5月	1日時点の情報	ł)					
		職先、業界等									
	(令和6年度 病院、クリ	^{卒来生)} □ニック、調剤薬局な	تلة								
							_				
~~ - +		評価機関等から第	= 者評価·								
	I-X- 右 (/) '場合						無				
第三者による 学校評価		、例えば以下について						『価紅甲を掲載』を			
第三者による学校評価					受審年月:	_	音	₽価結果を掲載した √ームページURL	_		
学校評価 当該学科の		、例えば以下について			受審年月:	-	音	₽価結果を掲載した ▽ームページURL	-		
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ		、例えば以下について	任意記載		受審年月:	-	音	F価結果を掲載した マームページURL	-		
学校評価 当該学科の	https://yo	、例えば以下について 評価団体: — oshida-iryoshika.jp/	任意記載		受審年月:	-	音	F価結果を掲載した 	-		
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	、例えば以下について 評価団体: - oshida-iryoshika.jp/ (時間による算定)	任意記載		受審年月:	-	音	P価結果を掲載した ベームページURL			1
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	Mえば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ は時間による算定) 総授業時数	任意記載 /shika-giko/				音	P価結果を掲載した ニームページURL		単位時間]
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp, は時間による算定) 総授業時数 うち企業	任意記載 /ˈshika-giko/	こ実験・実習	冒・実技の授業		音	P価結果を掲載した ニムページURL	180	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 /shika-giko/ 等と連携した 等と連携した	こ実験・実習	冒・実技の授業		音	マームページUR L	180	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ 等と連携した を等と連携した を等と連携した	≿実験・実習 ≿演習の授業	♂・実技の授業 楽時数	時数	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ 等と連携した 接等と連携した 授業時数 うち企業等	と実験・実習 と演習の授業 等と連携した	習・実技の授業 業時数 □ 必修の実験・	実習・実技の	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	https://yo	MR (ば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必能	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ (等と連携した 接等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	省・実技の授業 業時数 二必修の実験・ 二必修の演習の	 実習・実技の 授業時数	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	https://yc	MR (ば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必能	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ (等と連携した 接等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	習・実技の授業 業時数 □ 必修の実験・	 実習・実技の 授業時数	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	https://yc	「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ (等と連携した 接等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	省・実技の授業 業時数 二必修の実験・ 二必修の演習の	 実習・実技の 授業時数	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	https://yc	 ・ 例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp/ 時間による算定) 終授業時数 うち企業 うち必備 (うち金 (うち金 (うち金 	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ (等と連携した 接等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	省・実技の授業 業時数 二必修の実験・ こ必修の演習の	 実習・実技の 授業時数	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	 (例えば以下について 評価団体: - (事間による算定) (お授業時数 うち企業 うち必婚 (うち企 数による算定) (お登せ位数) 	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ 等と連携した 接等と連携した を接業時数 うち企業等 うち企業等 ・主選等と連携し	た実験・実習の授業 た演習の授業 等と連携した たインター	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの授	実習・実技6 授業時数 (業時数)	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	 (例えば以下について 評価団体: - (事間による算定) (お授業時数 うち企業 うち必婚 (うち企 数による算定) (お登せ位数) 	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ 等と連携した 接等と連携した を接業時数 うち企業等 うち企業等 ・主選等と連携し	た実験・実習の授業 た演習の授業 等と連携した たインター	省・実技の授業 業時数 二必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技6 授業時数 (業時数)	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	 (例えば以下について 評価団体: - (時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ 等と連携した 接等と連携した を接業時数 うち企業等 うち企業等 ・主選等と連携し	に実験・実習 た演習の授業 等と連携した をと連携した したインター	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの授	実習・実技6 授業時数 (業時数)	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携先した沢ス	https://yc	 (例えば以下について 評価団体: - (時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ /等と連携した 接業時数 うち企業等 うち企業等 と連携した 等と連携した 等と連携した 等と連携した	に実験・実習 た演習の授業 等と連携した をと連携した したインター	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの授	実習・実技6 授業時数 (業時数)	設力	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	(例えば以下について	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ /等と連携した /を等と連携した / 方ち企業等 / うち企業等と連携した / 変等と連携した / 変等と連携した / 変勢と連携した / 変勢と連携した / 変勢と連携した / 変数	と実験・実習 ・実習の授業 ・実達携した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 実連携した ・ ・ で と 連携した インター ・ ・ た 、 で 、 で 、 を と 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの授	時数 実習・実技な 授業時数 業時数)	D·授業時数	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	(例えば以下について	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /se等と連携した /を等と連携した /変等と連携した /変等と連携した /変等と連携した /変等と連携した /の表示 /の表示 /の表示 /の表示 /の表示 /の表示 /の表示 /の表示	と実験・実習 を連携した をと連携したインター と実験・実習の をと連携した とを実験・実習の をと連携した	習・実技の授業 実時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ーンシップの授 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ と ・ で も に の は の は の は の は の は の が の の の の の の の の の の の の の	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の	D·授業時数	マームページUR L	180 0 17715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	https://yc	、 例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /se等と連携した /sを変響等と連携した /s等と連携した /s単位数 /so企業等 /soc	と実験・実習 を連携した をと連携したインター と実験・実習の をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した	習・実技の授業 集時数 二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの授 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ と を ・ の は で は の は の は の は の は の は の は の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	時数 実習・実技な 授業時数 業時数) 数 実習・実技な 単位数	D·授業時数	マームページUR L	180 0 17715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	https://yc	、 例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /se等と連携した /sを変響等と連携した /s等と連携した /s単位数 /so企業等 /soc	と実験・実習 を連携した をと連携したインター と実験・実習の をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した	留・実技の授業 集時数 二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの授 のでである。 一、実技の単位 立数 一の後の実験・ こ必修の演習の である。	時数 実習・実技な 授業時数 業時数) 数 実習・実技な 単位数	D·授業時数	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	、 例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修	任意記載 /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /shika-giko/ /se等と連携した /sを変響等と連携した /s等と連携した /s単位数 /so企業等 /soc	と実験・実習 を連携した をと連携したインター と実験・実習の をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した	留・実技の授業 集時数 二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの授 のでである。 一、実技の単位 立数 一の後の実験・ こ必修の演習の である。	時数 実習・実技な 授業時数 業時数) 数 実習・実技な 単位数	D·授業時数	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	、 例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修	任意記載 shika-giko/ shika-giko	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいな、 とがいては、 とがいな、	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 単位数 (位数)	D·授業時数	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携失した況 (名、Bいずれか	https://yc	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必婚 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 での担当業年限者 (うち企	任意記載 (shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (方ち企業等と連携した) (字等と連携した) (字字を連携した) (字字を連携を連携を呼ばまた) (字字を連携を呼ばまた) (字字を呼ばまた) (字字を呼	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいな、 とがいては、 とがいな、	実習・実技の 授業時数 授業時数) 数 単位数 (専修学)	D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - -	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況	https://yc		任意記載 (shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (方ち企業等と連携した) (字等と連携した) (字字を連携した) (字字を連携を連携を呼ばまた) (字字を連携を呼ばまた) (字字を呼ばまた) (字字を呼	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいな、 とがいては、 とがいな、	実習・実技の 授業時数 授業時数) 数 単位数 (専修学)	D授業時数	マームページUR L	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - -	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の以上、決議を選挙を受け、 に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必婚 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 での担当業年限者 (うち企	任意記載 (*shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (表等と連携した) (表等と連携した) (表等と連携した) (表等と連携した) (表等と連携した) (表等と連携した) (表等と連携した) (表等とと連携した) (表述を) (表述	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいなが、 とがいなが、 とがいながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	実習・実技の 授業時数 授業時数) ・数数 ・数数 ・実性の数 ・(専修学科 ・(専修学科	D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項	マームページUR L (第1号) (第2号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した表習等の場合に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: - shida-iryoshikajp/ は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを企業 うちを企業 うちを企業 うちを必 (うちを) (うち	任意記載 (shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (事等と連携した) (事等と連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とを修しな) (事等とを修した) (事等とを修しな) (事等を表) (事等を表) (事を表)	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいなが、 とがいなが、 とがいながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	実習・実技な 授業時数 業時数) 数 数 単位数 (専修学) (専修学)	D授業時数 D単位数 交股置基準第41条第1項 交股置基準第41条第1項	(エムベージURL) (第1号) (第2号) (第3号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 上単位 上単位 人 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連集施ずれいに記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp/ 時間による算定) 総授業時数	任意記載 (shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (事等と連携した) (事等と連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とを修した) (事等とを修した) (事等とを修した) (事等を表験者	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいなが、 とがいなが、 とがいながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	実習・実技の 授業時数) ・ 実 で 実 表 の で ま で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で す を 学 に で す を 学 に で す を 学 に で す を 学 に す を ア に す に す に す に す に す に す に す に す に す に	D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(エムベージURL) (第1号) (第2号) (第3号) (第3号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 上 単位 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連集施ずれいに記入) に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	「柳えば以下について 評価団体: -	任意記載 (shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (事等と連携した) (事等と連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とを修した) (事等とを修した) (事等とを修した) (事等を表験者	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいなが、 とがいなが、 とがいながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	実習・実技の 授業時数) ・ 実 で 実 表 の で ま で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で す を 学 に で す を 学 に で す を 学 に で す を 学 に す を ア に す に す に す に す に す に す に す に す に す に	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(エムベージURL) (第1号) (第2号) (第3号) (第3号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連集施ずれいに記入) に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshikajp, 時間による算定) 総授業時数	任意記載 (shika-giko/ (等と連携した) (等と連携した) (事等と連携した) (事等と連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とと連携した) (事等とを修した) (事等とを修した) (事等とを修した) (事等を表験者	と実験・実習を実施を表演習の授業を主連携したという。 を連携したインターとを実施の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	電・実技の授業 素時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実験・ ニンシップの授 ・実技の単位 立数 ・必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ ことがらのプロー とがらいてによいでは、 ないでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいては、 とがいでは、 とがいなが、 とがいなが、 とがいながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	実習・実技の 授業時数) ・ 実 で 実 表 の で ま で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で す を 学 に で す を 学 に で す を 学 に で す を 学 に す を ア に す に す に す に す に す に す に す に す に す に	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(エムベージURL) (第1号) (第2号) (第3号) (第3号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 上 単位 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施がれかに記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp,	任意記載 shika-giko/ shika-giko	生実験・実演習の を実演習の をと連携したした。 実演の をと連携として、 実演をときません。 とまずいでは、 をとまずいでは、 をとまずいでは、 とまずいながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが	習・実技の授業 書・実技の授業 書・実技の授業 主必修の実験・ ニ必修の実験・ 一ンシップの授 でも、実技の単位 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実習・実技の 授業時数) 数 実単位数) (専修学 (専修学)	D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号) (東第3号) (東第5号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と連集施ずれいに記入) に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-iryoshika.jp,	任意記載 shika-giko/ shika-giko	生実験・実置・実験・実置・大きな連携したたってまた。 の 実 選携 した たっこま 実 験 で は した たっこま 変 連携 した たっこま で がっま がった がいま がった がいま かい まい かい まい かい	習・実技の授業 書・実技の授業 書・実技の授業 主必修の実験・ ニ必修の実験・ 一ンシップの授 でも、実技の単位 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実習・実技の 授業時数) 数 実単位数) (専修学 (専修学)	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号) (東第3号) (東第5号)	180 0 1715~1805 180 0 0 - - - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療事務クラーク学科では、実践的かつ専門的な職業教育を実践する為、教育課程編成委員会による意見を尊重し、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設、授業内容・実施方法の改善・工夫等)等に活かすことを基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- 医療事務クラーク学科の教育課程編成について協議・策定するための機関として設置する。
- ①学科の目的に基づき、現状での問題点や課題等を明確にしたうえで提言を求める。
- ②意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案等を策定する。
- ③協議内容について、学則変更を伴う教育課程の変更については理事会の決議を経て反映される。
- また、シラバス・実習・演習に関する変更については校長の決裁を経て反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

			月1日現在
名 前	所 属	任期	種別
籔本 秀彦	末廣屋電気株式会社 安全管理部 次長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
河合 一成	石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署 警防課救急担当課長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	1)
帰山 浩次	新札幌循環器病院 臨床工学科	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
加藤 宝貢	萬田記念病院 臨床工学 主任	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
沼田 友季子	萬田記念病院 視能訓練 主任	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
西山 季里子	北海道大学大学院医学研究院 眼科学教室 主任視能訓練士	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
八若 保孝	北海道大学大学院歯学研究院長 教授	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	2
堀口 純江	勤医協にしく歯科診療所 歯科衛生士 士長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
金子 博	株式会社モリタ 北海道支店 商品営業グループ リーダー	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
川口 淳	札幌龍谷学園高等学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	2
矢津田 剛	社会医療法人アルデバラン 手稲いなづみ病院 事務部事務次長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
早坂 光司	一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会 会長 北海道大学病院 検査・輸血部	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1)
藤條 久貴	北海道和光純薬株式会社 営業一課 課長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3
吉田 克彦	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	-
三上 剛人	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	-
齊藤 勤	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
菩提寺 浩	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
本吉 竜浩	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
星直樹	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_

四宮 敦志	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
松本 崇嗣	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
佐々木 英世	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
熊谷 英幸	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和7年8月28日 18:00~

第2回 令和8年2月27日 18:00~

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

前年度の各実績報告・現状の課題点を説明し、取り組みに対する意見や改善への提言を基に、新たな取り組みの必要性などに関する情報交換を行った。

- ・各コースのオリジナリティーを出すため、1年次選択科目(各演習科目)の見学先をコースごとに区別することとした。
- ・スキルアップのため、多種多様なPC(ソフト)操作が望まれるとの助言に基づき、予算化し購入を進めると共に応用力を高める授業展開を検討する。
- ・社会に出てからのギャップ軽減のため、より資質向上や心構えに対する必要度が高まっていることから、「実務側での取り 組みなどを関連付けてはどうか」との意見を受け授業展開の工夫を図ることとした。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習依頼・承諾書等による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指す為に連携を行うもの。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 連携企業の勤務形態に合わせ実習を行う。
- ・医療機関での医療事務業務を見学・体験し、現場での役割を理解する。
- ・授業で学んだ知識や技術を現場の第一線で体験し、業務内容をより深く理解するため、実習指導者と事前の打合せ、期間中における進捗確認等を実施し共通認識のもと学生指導にあたる。
- ・実習終了後に実習指導者からの評価を基に習熟度評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

V - V - V - L - L - L - L - L - L - L -	111111111111111111111111111111111111111		
科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
病院実習 I		会計・カルテ管理業務などの日常 業務を見学及び体験する。併せ て、社会人としてのビジネスマナー	手稲渓仁会病院 札幌東徳洲会病院 札幌厚生病院 市立千歳市民病院 勤医協苫小牧病院 等

病院実習Ⅱ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	各医療機関の方針や注意事項を理解し、積極的に受付・料金計算・会計・カルテ管理業務などの日常業務を実践する。併せて、社会人としてのビジネスマナーを学び、対人コミュニケーションを実践する。	手稲渓仁会病院 札幌東徳洲会病院 萬田記念病院 時計台記念病院 北海道循環器病院 等
薬局・薬店店舗実習	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	薬局での医療事務業務を体験することで、基本的な現場での役割を理解する。併せて、ビジネスマナー及び対人コミュニケーションを学び、実践する。	ナカジマ薬局

(別途、以下の資料を提出)

- * 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等
- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規定により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを 基本方針とする。

(研修の種類)

- •教育職研修会
- ·階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)
- (2)研修等の実績
- ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本医療保険事務協会 診療報酬請求事務研修会 連携企業等:日本医療保険事務協会

令和7年10月下旬から令和8年1月31日までオンデマンドに 期間: 対象: 数関係表質

^{게 豸 ・} 務関係者等

内容 「令和8年度診療報酬改定に向けて」「請求事務の誤り事例について」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 吉田学園専門学校教育研修会 連携企業等: 一

期間: 令和6年8月9日 対象: 正職員・嘱託職員

内容教育基軸の活用に向けた各専門学校の取り組みから、教育力の向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務入門セミナー(医療保険制度編) 連携企業等: ソラスト

期間: 随時(オンラインによるセミナー) 医療経験の浅い方、 対象: 新人教育に携わる方

和人教目に携わる

内容 医療業界で働く新人教育に携わるセミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 吉田学園専門学校教育研修会 連携企業等: AVINTONジャパン株式会社他

期間: 令和7年8月8日 対象: 正職員・嘱託職員

内容学生の多様化に的確に対応できる学生指導を目指す。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。(評価項目)・教育理念・目標・学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生の受け入れ募集・財務状況・法令等の遵守・社会貢献・地域貢献・国際交流等

2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応									
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目								
(1)教育理念·目標	①学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ②学校における職業教育の特色は何か ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか								
(2)学校運営	①日的寺に沿つに理呂万軒が東足されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ④人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ②情報システム化等による業務の効率化が図られているか								
(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑥関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ⑪関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ⑪関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか								
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に 活用されているか								
(5)学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥学生の生活環境への支援は行われているか ⑦保護者と適切に連携しているか ⑧卒業生への支援体制はあるか ⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取 組が行われているか								

(6)教育環境	①施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③納付金は妥当なものとなっているか
(8)財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適正に行われている ④財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか ④自己点検・評価結果を公開しているか
(10)社会貢献·地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	①留学生の受入れについて戦略を持って行っているか ②留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ・国家試験等合格実績について、臨床工学科が新卒で合格率が下がったこと、臨床検査学科は前年よりも合格率が上がったこと、救急救命学科の新卒者、視能訓練学科、歯科技工学科が100%合格、全学科全国平均は上回っていることの報告をした。
- ・就職実績について、臨床検査学科が昨年かなり病院での求人数が減っている状況であり、逆に救急救命学科は病院で働く救急救命士が増えている関係で90%に近い就職内定率となっているを報告した。また、歯科技工学科・医療事務クラーク学科は100%の就職内定率であることの報告を行った。
- ・教育力向上・学習環境整備の取り組みについて、今年度の教育研修に、8/9の吉田学園教育研修会と8/24の日本医療教授システム学会を予定していることを報告した。続けて、前年度の取り組みとして委員会活動の活性化における5つの委員会(①授業運営、②学生支援、③就職支援、④美化、⑤キャンパスプロデュース)の活動内容について報告し、昨年度から実施している基礎カリサーチの効果的な利活用など、在籍率向上への取り組み事例として継続実施している報告を行っ

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
八若 保孝	北海道大学大学院歯学研究院長 教授	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	企業等役 員
松原 明勇	石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署警 防課	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	卒業生
菊池 恒	札幌狸小路商店街振興組合 顧問	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	地域関係 者
小島 修二	札幌創成高等学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	他校校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

[ホームページ] 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/iryoshika/

公表時期: 令和7年10月31日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)
- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科目的に掲げた職業人の育成には、学校関係者との信頼関係を築き、連携・協力体制の構築が必要不可欠であり、そ のために適切なツールにより、積極的な情報提供を行うことを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革・歴史 ・設立と教育目標、理念、教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等
(2)各学科等の教育	・定員数、在学生数・カリキュラム(授業概要、授業時数等) ・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等) ・学習の成果として取得を目指す資格等 ・卒業者数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)
(3)教職員	•教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取り組み状況 ・現場実習等の取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況 ・部活動の活動状況および実績 ・施設・設備等の教育環境
(6)学生の生活支援	・学生・生活指導への取り組み状況 ・カウンセリングの体制整備等に関する状況
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金の取扱い(学費・納入時期等) ・活用できる修学支援の内容(奨学金、経済的支援等制度、貸付金の 案内等)
(8)学校の財務	·事業報告書 ·貸借対照表 ·収支計算書 ·監査報告書
(9)学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果 ・評価結果を踏まえた改善方策等
	特になし 特になし

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)情報提供方法

<u>(ホームペー</u>

広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/iryoshika/

公表時期: <u>令和7年10月31日</u>

授業科目等の概要(新カリキュラム)

				医療事務ク		<u> </u>	<i>,</i> <u>,</u> ,									
		分類	Į			配	授		授	業		場	所	教	員	☆
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	だ 業 時 数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外	専任	兼任	との
1	0			秘書実務 I	企業や社会で必要とされるマナーやビジネ スに関する知識・接遇応対マナーを身に付 ける。	1 • 前	60	4	0		技	0			0	
2	0			秘書実務Ⅱ	秘書実務 I での学習を踏まえて、検定試験 合格に向けての知識向上と社会人としての マナーの習得。		30	2	0			0			0	
3	0			PUP 1 — T 7	WordでのPOPを習得することによって、物事 をわかりやすく、魅力的に伝える方法を学 習する。		30	1			0	0			0	
4	0			ビジネススキ	就職について目指す方向性を明確にし、準備を整える。また、内定獲得に向けた就職 活動および社会人として必要な能力を身に つける。	-	16	1		0		0		0		
5	0			情報基礎	文書作成や計算処理など、実務で使う「Word」や「Excel」の基本的な機能を学習し、使いこなせるようになることを目的とする。さらに、Excel検定3級を取得し、習得した技術の結果とする。		60	2		0		0			0	
6	0				HTML・CSSの構造を理解し、情報を受信者に 分かりやすく伝達するWebページの作成技術 を身に付ける。		30	1			0	0			0	
7	0			医療事務I	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。	'	60	4	0			0		0		
8	0			医療事務Ⅱ	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。	l	60	4	0			0		0		
9	0			医療事務Ⅲ	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。	l !	60	4	0			0		0		
10	0			医療事務IV	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。	l !	60	4	0			0		0		
11	0			医療事務V	医療事務管理士試験合格に向け、医療事務 I ~ IVで学んだ学科・点検・外来・入院の 知識を総合的に向上させる。		30	2	0			0		0		
12	0				医療事務技能審査試験に向け、レセプト点 検知識を高める。	1 • 後	60	4		0		0		0		
13	0			メディカルク ラーク Ⅱ	医療事務技能審査試験に向け、医療関連法 規等や医療費計算についての知識を習得す る。		60	4	0			0		0		
14	0			メディカルク ラークⅢ	医療事務技能審査試験に向け、受付応対に 関する知識向上と敬語の使い方の技能を高 める。検定対策として文章力をつける。		60	2	0			0			0	

_		 1	T						1	 		
15	0	メディカルク ラークⅣ	医療事務技能審査試験合格に向け、メディカルクラーク I ~Ⅲで学んだ実技 I ・Ⅱ・学科の知識を総合的に向上させる。	1 • 後	30	1		0	0	0		
16	0	歯科事務アシ スタント I	歯科事務に必要な歯の基礎的知識を習得する。 ・診療録をみて歯科治療の流れがわかるようにする。 ・歯科診療報酬(点数)の算出方法を理解する。	1 1	16	1		0	0		0	
17	0	医療実務 I	医療事務の仕事をひと通り学習した後、 ケースごとの演習を通して実践的な対応力 を身につける。	1 · 後	30	2		0	0	0		
18	0	医療実務Ⅱ	医療実務Iでの知識を基礎とし、更に社会人 に近い動きを学ぶ。	2 • 前	30	2	0		0	0		
19	0	医療実務Ⅲ	就職学年として、必要な医療実務を学び、 その知識と意識を向上させる。	2 · 前	30	2		0	0		0	
20	0	ドクターズク ラーク	医師事務作業補助者の役割を理解し、関連 する法規や制度の基礎を学び実務に役立て る。		60	4	0		0		0	
21	0		病気の予防や薬による健康被害などを防止 するため薬の正しい知識を習得する。	2 • 通	60	4	0		0		0	
22	0		医療機関における患者対応の質を高めるために必要な接遇力・コミュニケーションカ・医療制度の理解・実務スキルを体系的に習得することを目的とする。	12	60	4	0		0		0	
23	0	調剤報酬請求 事務	調剤報酬についての理解、薬の基礎知識や 薬の副作用などの知識を習得する。	2 · 前	60	4	0		0		0	
24	0	歯科事務アシ スタントⅡ	歯の基礎的知識を歯科事務に応用できるようにする。 診療録をみて歯科治療の流れを的確に把握する。 歯科診療報酬(点数)を正確に算出できるようにする。	2	16	1	0		0		0	
25	0		前で学習した医療事務の基礎知識をもとに コンピュータ処理能力を高める。	1 · 後	60	2		0	0		0	
26	0	点字・手話	(手話) 聴覚障害者に対しての理解を深めると同時に様々なコミュニケーションの実態を取り上げる中で、手話に関する実技学習を進める。 (点字) 盲人用文字としての点字を正しく理解し、障害者とのコミュニケーション手段としてある程度活用できること、点字の読み方書き方の基礎基本を学び興味を持っていただく。	2 • 前	16	1		0	0		0	
27	0	医療関連スキル	医療従事者に関わる法律 (医療法、医師法、薬事法など) の内容や日常業務で用いられる医療用語の意味を学び、理解する。		30	1	0		0		0	
28	0	病棟クラーク 演習	看護、患者を理解し病棟内の業務の円滑な 進め方を理解する。病棟内で扱う煩雑且つ 膨大な業務と書類の整理整頓の仕方を学 ぶ。	12	48	2		0	0		0	
29	0	小児コミュニ ケーション	子どもの発達段階や特質を理論的に理解す る。	2 • 前	30	2	0		0		0	

30 O 小児発達 子どもの健全育成に関する基本的理論と実 2	0
31 O ホスピタルア 病院組織のなかの医療事務員の役割、各診 2	0
薬 局 店 舗 実 薬局薬店または歯科クリニックでの医療事 1 30 1 0 0 1 0 0 1 0 0	0 0
33 O 病院実習 I 医療機関での医療事務業務を見学・体験 1	0 0
病院実習 I を経て、授業で学んだ知識や技 2 90 2 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0
35 O 社会実習 I ~ 授業で学んだ知識や技術を内定先の現場で 2	0 0
To POPコーディ WordでのPOPを習得することによって、物事 2	0
A	
38 O パソコンスキ メール、クラウドを利用した情報の送受信 2 30 1 O O	0
39 O 情報応用 Word機能を応用して、課題に応じた、各種 文書の作成ができる。 2 ・ 後 30 1	0
相手に情報を伝えることは日常生活の中で 必要不可欠なことである。この情報伝達を 2 わかりやすく、より伝わりやすいようにエ · 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0
41	0
42 O 医療実務IV 想定される受付の場面に応じた必要な知識 2 O O O O O O O O O	0
42 0 6½ 6½ 6½ 6½ 6½ 6½ 6½ 70	

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
教育課程の定めるところにより、修業年限以上在学し、教育指導計画 卒業要件:にしたがって授業科目を履修し、その成果が満足と認められたとき は、所定の会議の議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。	1 学年の学期区分	2 期	
履修方法: 対面及び遠隔授業等により、学則別表に定める当該学年に認定された 授業科目の全てを履修しなくてはならない。	1 学期の授業期間	15 週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について(旧カリキュラム)

学校名_		設置認	可年月日	杉	泛長名		060-0063	所在地				
吉田学園医療歯科	斗専門学校 平成19年3月27日 吉田 克彦 (住所) 札幌市中央区南3条西1丁							西1丁目11-1				
設置者名								所在地				
						(住所)	060-0063 北海道札幌市中央Ⅰ	区南3条西1丁目15番	地			
分野	(電話) 011-272-6070 認定課程名 認定学科名 専門士認定年度 7					高度専門士認定						
医療	専門課程 医療事務クラーク学科 平成28(2016)年度							成27(2015)年度				
学科の目的	大学到け、サークになける医療体制を充実され、地域サークに含むするものに、患いた数差のが専用的が知識した				知識と技術を備えた優	れた医療従	事者を育り	成することを目的とす				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		情求事務能力認 中退率:4.55%		「コンピュータ技	支能検定試験3	3級						
修業年限	昼夜	全課程の修了	に必要な総授 単位数	業時数又は総	講	義	演習	実習	実	!験	実技	
2	昼間	※単位時間、単位 かに記入	いずれ 1,7	15 単位時間	814~934	-	436 単位時間	210~ 481		単位時間	30~180 単位時間	
生徒総定員			留学生数(生徒)	- 単位 g員の内数)(B)	留学生割	· 単位 合(B/A)	中退率	- 単位		単位	- 単位	
80 人	19	A .		0 人	0	1 %	0 %					
80 %	■卒業者		:	9		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	U 74					
	■就職希 ■就職者	望者数(D) 粉(E)	:	8 8		\						
	■地元就	職者数(F)	•	5		人						
	■就職率	(E/D) に占める地元就	職者の割合(100 F/E)		%						
				63		%						
	■卒業者	こ占める就職者	の割合 (E/C)	89		%						
就職等の状況	■進学者■その他	数		0		人						
	- ての心											
	(令和	6 年度	で卒業者に関する	5合和7年5月	1 日時点の情報	₽)						
		職先、業界等	C 1 3K II 1 - DG 7		- 1. 1							
	(令和6年度											
	病院、クリ	ニック、調剤薬	延局など									
		評価機関等か	に第二名証価				ATT.					
第三者による	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載											
	X 100 700 LI	、例えば以下につ		l •								
第二角による 学校評価		、例えば以下につ 評価団体: -			受審年月:	-	音	を価結果を掲載した ニームページURL	_			
					受審年月:	-	音	E価結果を掲載した ームページURL	-			
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ			ついて任意記載		受審年月:	_	音	価結果を掲載した ニームページURL	-			
学校評価 当該学科の	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik	Dいて任意記載 ka.jp/shika-gik		受審年月:	-	音	価結果を掲載した ームページURL	-			
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik z時間による算定	Dいて任意記載 ka.jp/shika-gik		受審年月:	-	音	で 低結果を掲載した ロームページURL	1 715	単 位時間	1	
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik c時間による算定 総授業時数	Oいて任意記載 ka.jp/shika-gik E)	.0/			音	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		単位時間]	
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik t時間による算定 総授業時数 うち	our 任意記載 wajp/shika-gik E) 5企業等と連携	o/ した実験・実習	習・実技の授業		音	価結果を掲載した ームページURL	180	単位時間]	
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik 時間による算定 総授業時数 うち うち	contrest in the state of the	o/ した実験・実習	習・実技の授業		音	ームページURL	180	単位時間		
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik 時間による算定 総授業時数 うち うち	xa,jp/shika-gik E) ら企業等と連携 ら企業等と連携 ら必修授業時数	o/ した実験・実習 した演習の授助	習・実技の授業 業時数	è 時数	設力	ームページURL	180 0 715~1805	単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	https://yo	評価団体: - oshida-iryoshik 時間による算定 総授業時数 うち うち	(a,jp/shika-gik を) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	。/ した実験・実置 した演習の授身 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ○と必修の実験・	実習・実技の	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL	https://yd	評価団体: - oshida-iryoshik u時間による算定 総授業時数 うと うと うと	(a,jp/shika-gik を) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	。/ した実験・実習 した演習の授乳 業等と連携した 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技な)授業時数	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	https://yd(A:単位	評価団体: - oshida-iryoshik u時間による算定 総授業時数 うと うと うと	xa.jp/shika-gik を	。/ した実験・実習 した演習の授乳 業等と連携した 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技な)授業時数	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携施した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - oshida-iryoshik u時間による算定 総授業時数 うと うと うと	ca.jp/shika-gik 定) 5企業等と連携 5企業等と連携 5の修授業時数 うち企 うち企業等と連	。/ した実験・実習 した演習の授乳 業等と連携した 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技な)授業時数	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	https://yd (A:単位	評価団体: - pshida-iryoshik p時間による算定 総授業時数 うた うた (う	ca.jp/shika-gik 定) 5企業等と連携 5企業等と連携 5の修授業時数 うち企 うち企業等と連	。/ した実験・実習 した演習の授乳 業等と連携した 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技な)授業時数	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - pshida-iryoshik ph間による算定 総授業時数 うた うた (う 変数による算定)	ca.jp/shika-gik 定) 5企業等と連携 5企業等と連携 5の修授業時数 うち企 うち企業等と連	o/ した実験・実習 した演習の授動 業等と連携した 携したインター	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの持	実習・実技C 授業時数 受業時数)	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携施した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - pshida-iryoshik pshi	(a,jp/shika-gik をa,jp/shika-gik を企業等と連携 5.企業等と連携 5.必修授業時数 うち企: うち企業等と連	o/ した実験・実習 した演習の授多 業等と連携した 携したインター した実験・実習	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの持	実習・実技C 授業時数 受業時数)	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携先した 深く名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - Dishida-iryoshik U時間による算定 総授業時数 うたった。 (う な数による算定) 総単位数 うたった。	(a,jp/shika-gik を(a,jp/shika-gik を(a) (a) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	o/ した実験・実習 した演習の授多 業等と連携した 携したインター した実験・実習	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの持	実習・実技C 授業時数 受業時数)	設力	ームページURL	180 0 715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携先した 深く名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - Dishida-iryoshik U時間による算定 総授業時数 うたった。 (う な数による算定) 総単位数 うたった。	ca.jp/shika-gik E) の企業等と連携 の企業等と連携 のを授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企業等と連携 の企業等と連携 の企業等と連携 の企業等と連携	o/ した実験・実習 した演習の授多 業等と連携した 携したインター した実験・実習	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの搭 習・実技の単位 立数	実習・実技(授業時数 授業時数)	D授業時数	ームページURL	180 0 715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - Dishida-iryoshik U時間による算定 総授業時数 うたった。 (う な数による算定) 総単位数 うたった。	xa,jp/shika-gik (注) 5企業等と連携 5必修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うな企業等と連携 ら企業等と連携 ら企業等と連携 の企業等と連携 の企業等と連携 の企業等と連携	o/ した実験・実習 した演習の授契 業等と連携した 携したインター した実験・実習 した演習の単位	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの持 ・実技の単位 立数 こ必修の実験・	実習・実技(授業時数) 対数 実習・実技(D授業時数	ームページURL	180 0 7715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携施した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - pshida-iryoshik pshi	xa,jp/shika-gik (注) 5企業等と連携 5必修授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うな企業等と連携 ら企業等と連携 ら企業等と連携 の企業等と連携 の企業等と連携 の企業等と連携	o/ した実験・実習 した演習の授動 業等と連携した 携したインター した実験・実習 した演習の単位 業等と連携した 業等と連携した 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ランシップの持 で変数 に必修の実験・ に必修の実験・ に必修の演習の	実習・実技(授業時数) 大変に変換を表明数 大変に変換を表明を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	D授業時数	ームページURL	180 0 7715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等等と連携地に によい。	https://yd (A:単位	評価団体: - pshida-iryoshik pshi	xa,jp/shika-gik xa,jp/shika-gik 定) 5企業等と連携 5必修授業時数 うち企 うち企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携 5企業等と連携	o/ した実験・実習 した演習の授動 業等と連携した 携したインター した実験・実習 した演習の単位 業等と連携した 業等と連携した 業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ランシップの持 で変数 に必修の実験・ に必修の実験・ に必修の演習の	実習・実技(授業時数) 大変に変換を表明数 大変に変換を表明を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	D授業時数	ームページURL	180 0 7715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - Dishida-iryoshik U時間による算定 総授業時数 うた うた (う な数による算定) 総単位数 うた	xa,jp/shika-gik E) 5企業等と連携 5必修授業時数 うち企業等と連携 6企業等と連携 6企業等と連携 6企業等と連携 6企業等と連携 6の修単位数 うち企	o/ した実験・実習 した演習の授事 業等と連携した 携したインター した実験・実習 した演習の単位 業等と連携した 業等と連携した 携したインター	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの搭 当・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・	実習・実技(授業時数) 大変に変換を表明数 大変に変換を表明を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	D授業時数	ームページURL	180 0 7715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携施した況 (名、Bいずれか	https://yd (A:単位	評価団体: - Dishida-iryoshik U時間による算定 総授業時数 うた うた (う な数による算定) 総単位数 うた	a,jp/shika-gik (E) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	o/ した実験・実習した演習の授動業等と連携したインター した実験・実習した演習の授動業等と連携したインター した実験の実験・実習した大演習の単位業等と連携したインター するとを表示する。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技(授業時数) 変数 実習・実技(要素 要数 変数 単位数 単位数	D授業時数	- AN-VURL	180 0 0715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等等と連携地に によい。	https://yd (A:単位	評価団体:	a,jp/shika-gik (E) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	の/ した実験・実習の授乳 業等と連携した 大変調の授乳 業等と連携したインター した実験・実験・実施した はた実験・実施した はた実験・大変調の単位 まずいます。 は、たが、大変によって であります。 は、たが、大変によって は、たが、大変によって は、これで、大変によって は、これで、大変によって できる。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技()授業時数) 数 実習・実技(数 単位数 (専修学)	D授業時数	: 一ムページURL 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	180 0 715~1805 180 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の裏施状れか に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	a,jp/shika-gik a,jp/shika-gik b) c企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ら企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ら企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うちを全業等と連携 うちを主連 うちを全業等と連携 うちを全業等と連携 うちを全業等と連	の/ した実験・実習の授乳 業等と連携した 大変調の授乳 業等と連携したインター した実験・実験・実施した はた実験・実施した はた実験・大変調の単位 まずいます。 は、たが、大変によって であります。 は、たが、大変によって は、たが、大変によって は、これで、大変によって は、これで、大変によって できる。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技()授業時数) 2、業時数) (東等学社 (事等学社 (事等学社	D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項	(第2号) (第2号)	180 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施がれかに記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	a,jp/shika-gik a,jp/shika-gik b) c企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ら企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ら企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うちを全業等と連携 うちを主連 うちを全業等と連携 うちを全業等と連携 うちを全業等と連	の/ した実験・実習の長男 東等と連携した 大変なの長男 東等と連携したインター した実験・実習の単位 東等と連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した であり間とる。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技(対数 実習・実技(数数 実習・実技(単位数) (専修学) (専修学)	D授業時数 D単位数 交股置基準第41条第1項 交股置基準第41条第1項	第1号 1 1 1 1 1 1 1 1 1	180 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 上単位 上単位 人 人		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況からに記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	Aa,jp/shika-gik Aa,j	の/ した実験・実習の長男 東等と連携した 大変なの長男 東等と連携したインター した実験・実習の単位 東等と連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した であり間とる。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技 授業時数 対数 実習・実技 対数 (専修学) (専修学) (専修学)	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号 1 1 1 1 1 1 1 1 1	180 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中位 単位 中華 中位 中華 中國		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施が出た状況の に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	Aa,jp/shika-gik Aa,j	の/ した実験・実習の長男 東等と連携した 大変なの長男 東等と連携したインター した実験・実習の単位 東等と連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した であり間とる。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技 授業時数 対数 実習・実技 対数 (専修学) (専修学) (専修学)	D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号 1 1 1 1 1 1 1 1 1	180 0 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施がれかに記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	Aa,jp/shika-gik Aa,j	の/ した実験・実習の長男 東等と連携した 大変なの長男 東等と連携したインター した実験・実習の単位 東等と連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した 大変をと連携した であり間とる。	留・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験の 一ンシップの持 の で が で の を の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実技 授業時数 対数 実習・実技 対数 (専修学) (専修学) (専修学)	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号 1 1 1 1 1 1 1 1 1	180 0 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中位 単位 中華 中位 中華 中國		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施が出た状況の に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	なa,jp/shika-gik (E) 6企業等と連携 (5.6必修授業時数 (方.5 企業等とと連携 (方.5 企業等とと連 (方.5 企業等とと連 (方.5 企業等とを修 (方.5 企業等とと連 (方.5 企業等とを修 (方.5 企業等とを修 (方.5 企業等とを修 (方.5 企業等とを修 (方.5 企業等とをを (方.5 企業等とを (方.5 企業等とを (方.5 企業等と (方.5 企業等 (方.5	o/ した実験・実習した実際・実習の授動業等と連携したインター した実際のでは、	習・実技の授業 素時数 と必修の実験・ と必修の実験・ でというのである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 (専修学) (専修学)	D授業時数 D模工 等	「第1号) 「第2号) 「第3号) 「第5号)	180 0 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人		
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施・ででは、「に記入)	https://yd (A:単位 (B:単位	評価団体:	A a,jp/shika-gik (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	o/ した実験・実習 した実験の授 業等と連携した 実際の した実験の はた実験の した実験の した実験の した実験の した実験の したま演習 したま演習 したま演習 したま演習 したま演習 したま演習 したま変 にしたます したで にはいる こと	習・実技の授業 素時数 と必修の実験・ と必修の実験・ でというのである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 (専修学) (専修学)	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	「第1号) 「第2号) 「第3号) 「第5号)	180 0 715~1805 180 0 0 - - - - - - - - 3 3 0 0 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

医療事務クラーク学科では、実践的かつ専門的な職業教育を実践する為、教育課程編成委員会による意見を尊重し、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設、授業内容・実施方法の改善・工夫等)等に活かすことを基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- 医療事務クラーク学科の教育課程編成について協議・策定するための機関として設置する。
 - ①学科の目的に基づき、現状での問題点や課題等を明確にしたうえで提言を求める。
 - ②意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案等を策定する。
 - ③協議内容について、学則変更を伴う教育課程の変更については理事会の決議を経て反映される。
 - また、シラバス・実習・演習に関する変更については校長の決裁を経て反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名前							
11 刑	DI 周	L 均	作生 刀リ				
籔本 秀彦	末廣屋電気株式会社 安全管理部 次長	~令和8年3月31日(2年)	3				
河合 一成	石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署 警防課救急担当課長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	1				
帰山 浩次	新札幌循環器病院 臨床工学科	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
加藤 宝貢	萬田記念病院 臨床工学 主任	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
沼田 友季子	萬田記念病院 視能訓練 主任	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
西山 季里子	北海道大学大学院医学研究院 眼科学教室 主任視能訓練士	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3				
八若 保孝	北海道大学大学院歯学研究院長 教授	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	2				
堀口 純江	勤医協にしく歯科診療所 歯科衛生士 士長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
金子 博	株式会社モリタ 北海道支店 商品営業グループ リーダー	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
川口 淳	札幌龍谷学園高等学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	2				
矢津田 剛	社会医療法人アルデバラン 手稲いなづみ病院 事務部事務次長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
早坂 光司	一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会 会長 北海道大学病院 検査・輸血部	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1				
藤條 久貴	北海道和光純薬株式会社 営業一課 課長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	3				
吉田 克彦	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_				
三上 剛人	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_				
齊藤 勤	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_				
菩提寺 浩	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_				
本吉 竜浩	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_				
星直樹	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_				

四宮 敦志	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
松本 崇嗣	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	-
佐々木 英世	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_
熊谷 英幸	学校法人吉田学園 吉田学園医療歯科専門学校 副学科長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和7年8月28日 18:00~

第2回 令和8年2月27日 18:00~

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

前年度の各実績報告・現状の課題点を説明し、取り組みに対する意見や改善への提言を基に、新たな取り組みの必要性などに関する情報交換を行った。

- ・各コースのオリジナリティーを出すため、1年次選択科目(各演習科目)の見学先をコースごとに区別することとした。
- ・スキルアップのため、多種多様なPC(ソフト)操作が望まれるとの助言に基づき、予算化し購入を進めると共に応用力を高める授業展開を検討する。
- ・社会に出てからのギャップ軽減のため、より資質向上や心構えに対する必要度が高まっていることから、「実務側での取り 組みなどを関連付けてはどうか」との意見を受け授業展開の工夫を図ることとした。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習依頼・承諾書等による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指す為に連携を行うもの。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- ・連携企業の勤務形態に合わせ実習を行う。
- ・医療機関での医療事務業務を見学・体験し、現場での役割を理解する。
- ・授業で学んだ知識や技術を現場の第一線で体験し、業務内容をより深く理解するため、実習指導者と事前の打合せ、期間中における進捗確認等を実施し共通認識のもと学生指導にあたる。
- 実習終了後に実習指導者からの評価を基に習熟度評価を行う。
- (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
病院実習 I	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	業務を見学及び体験する。併せて、社会人としてのビジネスマナー	手稲渓仁会病院 札幌東徳洲会病院 札幌厚生病院 市立千歳市民病院 勤医協苫小牧病院 等
病院実習Ⅱ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	各医療機関の方針や注意事項を理解し、積極的に受付・料金計算・会計・カルテ管理業務などの日常業務を実践する。併せて、社会人としてのビジネスマナーを学び、対人コミュニケーションを実践する。	手稲渓仁会病院 札幌東徳洲会病院 萬田記念病院 時計台記念病院 北海道循環器病院 等

薬局・薬店店舗実習

3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)

薬局での医療事務業務を体験す ることで、基本的な現場での役割 を理解する。併せて、ビジネスマ ナー及び対人コミュニケーションを 学び、実践する。

ナカジマ薬局

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規定により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想され る業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを 基本方針とする。

(研修の種類)

- •教育職研修会
- •階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)
- (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

日本医療保険事務協会 診療報酬請求事務研修会 連携企業等: 日本医療保険事務協会 研修名:

令和7年10月下旬から令和8年1月31日までオンデマンドに 養成施設教職員、実

対象: 豫関係者等 期間: よる配信

「令和8年度診療報酬改定に向けて」「請求事務の誤り事例について」 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: -研修名: 吉田学園専門学校教育研修会

期間: 令和6年8月9日 対象: 正職員•嘱託職員

内容 教育基軸の活用に向けた各専門学校の取り組みから、教育力の向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務入門セミナー(医療保険制度編) 連携企業等: ソラスト

対象・医療経験の浅い方、 随時(オンラインによるセミナー) 期間: 新人教育に携わる方

内容 医療業界で働く新人教育に携わるセミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

吉田学園専門学校教育研修会 連携企業等: AVINTONジャパン株式会社他 研修名:

期間: 令和7年8月8日 対象: 正職員・嘱託職員

学生の多様化に的確に対応できる学生指導を目指す。 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委 員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教 育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。(評価項目)・教育理念・目標・学校運営・教育活動・学修成果・学 生支援 ・教育環境 ・学生の受け入れ募集 ・財務状況 ・法令等の遵守 ・社会貢献・地域貢献 ・国際交流等

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	①学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ②学校における職業教育の特色は何か ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されている か、有効に機能しているか ④人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されている か ⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されている か ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑥関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ①資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ①人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ②関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ①関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ①・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に 活用されているか
(5)学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥学生の生活環境への支援は行われているか ⑦保護者と適切に連携しているか ⑧卒業生への支援体制はあるか ⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取 組が行われているか
(6)教育環境	①施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③納付金は妥当なものとなっているか

(8)財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適正に行われている ④財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか ④自己点検・評価結果を公開しているか
(10)社会貢献·地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	①留学生の受入れについて戦略を持って行っているか ②留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ・国家試験等合格実績について、臨床工学科が新卒で合格率が下がったこと、臨床検査学科は前年よりも合格率が上がったこと、救急救命学科の新卒者、視能訓練学科、歯科技工学科が100%合格、全学科全国平均は上回っていることの報告をした。
- ・就職実績について、臨床検査学科が昨年かなり病院での求人数が減っている状況であり、逆に救急救命学科は病院で働く救急救命士が増えている関係で90%に近い就職内定率となっているを報告した。また、歯科技工学科・医療事務クラーク学科は100%の就職内定率であることの報告を行った。
- ・教育力向上・学習環境整備の取り組みについて、今年度の教育研修に、8/9の吉田学園教育研修会と8/24の日本医療教授システム学会を予定していることを報告した。続けて、前年度の取り組みとして委員会活動の活性化における5つの委員会(①授業運営、②学生支援、③就職支援、④美化、⑤キャンパスプロデュース)の活動内容について報告し、昨年度から実施している基礎カリサーチの効果的な利活用など、在籍率向上への取り組み事例として継続実施している報告を行っ

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
八若 保孝		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	企業等役 員
	石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署警 防課	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	卒業生
菊池 恒	札幌狸小路商店街振興組合 顧問	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	地域関係 者
小島 修二	札幌創成高等学校 校長	令和6年4月1日 ~令和8年3月31日(2年)	他校校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/iryoshika/

公表時期: 令和7年10月31日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学科目的に掲げた職業人の育成には、学校関係者との信頼関係を築き、連携・協力体制の構築が必要不可欠であり、そのために適切なツールにより、積極的な情報提供を行うことを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

\	2/1 寺门子牧における情報徒供寺、の城稲に	割りるカイドノイン」の項目との別心
	ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革・歴史 ・設立と教育目標、理念、教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等

(2)各学科等の教育	・定員数、在学生数・カリキュラム(授業概要、授業時数等) ・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等) ・学習の成果として取得を目指す資格等 ・卒業者数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)
(3)教職員	•教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取り組み状況 ・現場実習等の取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	- 学校行事への取り組み状況 - 部活動の活動状況および実績 - 施設・設備等の教育環境
(6)学生の生活支援	・学生・生活指導への取り組み状況 ・カウンセリングの体制整備等に関する状況
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金の取扱い(学費・納入時期等)・活用できる修学支援の内容(奨学金、経済的支援等制度、貸付金の案内等)
(8)学校の財務	·事業報告書 ·貸借対照表 ·収支計算書 ·監査報告書
(9)学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果 ・評価結果を踏まえた改善方策等
(10)国際連携の状況	特になし
(11)その他	特になし

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)情報提供方法
(ホームページ)・広報誌等の刊行物
URL: https://yoshida
公表時期: 令和7年10月31 広報誌等の刊行物 ・ その他() https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/iryoshika/ 令和7年10月31日))

授業科目等の概要(旧カリキュラム)

	專F	門課	程	医療事務クラ			-									
		分類	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				- 1		授	後業プ		場	所	教	員	
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外		兼任	との
1	0			秘書実務Ⅰ	企業や社会で必要とされるマナーやビジネ スに関する知識・接遇応対マナーを身に付 ける。	1 · 前	60	4	0			0			0	
2	0			秘書実務Ⅱ	秘書実務 I での学習を踏まえて、検定試験 合格に向けての知識向上と社会人としての マナーの習得。		30	2	0			0			0	
3	0			PUPIL	WordでのPOPを習得することによって、物事をわかりやすく、魅力的に伝える方法を学習する。		30	1			0	0			0	
4	0			ビジネススキ	就職について目指す方向性を明確にし、準備を整える。また、内定獲得に向けた就職活動および社会人として必要な能力を身につける。	-	30	2		0		0		0		
5	0			情報基礎	文書作成や計算処理など、実務で使う「Word」や「Excel」の基本的な機能を学習し、使いこなせるようになることを目的とする。さらに、Excel検定3級を取得し、習得した技術の結果とする。		60	2		0		0			0	
6	0			医療事務I	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。	l !	60	4	0			0		0		
7	0			医療事務Ⅱ	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。	l !	60	4	0			0		0		
8	0			医療事務Ⅲ	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。		60	4	0			0		0		
9	0			医療事務IV	医療費計算について必要な知識をしっかりと学習し、最終的に患者さんごとのレセプト(診療報酬明細書)を正確に作成できる力を身につける。		60	4	0			0		0		
10	0			医療事務V	医療事務管理士試験合格に向け、医療事務 I~IVで学んだ学科・点検・外来・入院の 知識を総合的に向上させる。		30	2	0			0				
11	0				医療事務技能審査試験に向け、レセプト点 検知識を高める。	1 . 後	60	4		0		0		0		
12	0			メディカルク ラーク Ⅱ	医療事務技能審査試験に向け、医療関連法 規等や医療費計算についての知識を習得す る。		60	4	0			0		0		
13	0			メディカルク ラークⅢ	医療事務技能審査試験に向け、受付応対に 関する知識向上と敬語の使い方の技能を高 める。検定対策として文章力をつける。		60	2	0			0			0	
14	0			メディカルク ラークⅣ	医療事務技能審査試験合格に向け、メディカルクラーク I ~Ⅲで学んだ実技 I ・Ⅱ・学科の知識を総合的に向上させる。	1 · 後	30	1		0		0		0		

		 -		_										
15	0	歯科事務アシ スタント I	歯科事務に必要な歯の基礎的知識を習得する。 ・診療録をみて歯科治療の流れがわかるようにする。 ・歯科診療報酬(点数)の算出方法を理解する。	1 !	16	1		0		0			0	
16	0	医療実務 I	医療事務の仕事をひと通り学習した後、 ケースごとの演習を通して実践的な対応力 を身につける。	1 · 後	30	2		0		0		0		
17	0	医療実務Ⅱ	医療実務Iでの知識を基礎とし、更に社会人 に近い動きを学ぶ。	2 • 前	30	2	0			0		0		
18	0	医療実務Ⅲ	就職学年として、必要な医療実務を学び、 その知識と意識を向上させる。	2 • 前	30	2		0		0			0	
19	0	診療報酬請求 事務 I	診療報酬請求事務能力認定試験に向け、レセプトに関する知識の向上と試験に対応できる学科知識を習得する。		30	2	0			0			0	
20	0	診療報酬請求 事務 Ⅱ	診療報酬請求事務能力認定試験の合格に資する能力を身につける。	2 • 前	60	4	0			0			0	
21	0	診療報酬請求 事務皿	症例別レセプト作成をする。診療科により 特徴があるので、どの診療科でも対応でき る力を身につける。		60	4	0			0			0	
22	0	診療報酬請求 事務演習 I	診療報酬請求事務能力認定試験の合格に資する力を身につける。	2 • 前	60	2		0		0			0	
23	0		診療報酬請求事務能力認定試験の合格に資する力を身につける。	2 • 前	60	2		0		0			0	
24	0	歯科事務アシ スタントⅡ	歯の基礎的知識を歯科事務に応用できるようにする。 診療録をみて歯科治療の流れを的確に把握する。 歯科診療報酬(点数)を正確に算出できるようにする。	2	16	1	0			0			0	
25	0	医 事 コ ン ピュータ演習 I	前で学習した医療事務の基礎知識をもとに コンピュータ処理能力を高める。	1 · 後	60	2		0		0			0	
26	0	点字	盲人用文字としての点字を正しく理解し、 障害者とコミュニケーションの手段として ある程度活用できることは意義深いことで ある。読み方、書き方の基礎、基本を中心 に手紙のやり取りまで期待する。	•	16	1	0			0			0	
27	0	手話	聴覚障害者に対しての理解を深めると同時に様々なコミュニケーションの実態を取り上げる中で、手話に関する実技学習を進める。	2	16	1	0			0			0	
28	0		医療従事者に関わる法律 (医療法、医師法、薬事法など) の内容や日常業務で用いられる医療用語の意味を学び、理解する。		30	2	0			0			0	
29	0	臨床検査学	医療機関の第一線で毎日必要となる「臨床 検査に関する基礎知識」を学ぶ。特に臨床 検査を体験することにより、臨床検査を身 近なものとする。		30	2	0			0			0	
30	0	病院実習 I	医療機関での医療事務業務を見学・体験 し、現場での役割を理解する。	1 . 後	45	1			0		0		0	0

				_	_								
31	0		病院実習Ⅱ	病院実習 I を経て、授業で学んだ知識や技術を現場の第一線で体験し、業務内容をより深く理解する。		90	2		0		0	0	0
32		0	社会実習I~ VI	授業で学んだ知識や技術を内定先の現場で 体験し、内定先の一員として業務内容を理解する。		270	6		0		0	0	
33		0	POPコーディ ネーションⅡ	WordでのPOPを習得することによって、物事を伝達する幅を広げたり、魅力的に伝える方法を学習する。		30	1		0	0		0	
34		0	パソコンスキル	メール、クラウドを利用した情報の送受信法を理解し、情報の扱い方を習得する。また、ホームページの構成を学習し簡単な修正ができるようになる。	2	30	1		0	0		0	
35		0	情報応用	Word機能を応用して、課題に応じた、各種 文書の作成ができる。	2 · 後	30	1		0	0		0	
36		0	医療実務Ⅳ	想定される受付の場面に応じた必要な知識 を学習する。	2 · 後	30	2	0		0		0	
37		0	診療報酬請求 事務IV	レセプト作成を迅速かつ正確に作成できるよう学習する。また、卒業後の実際の業務を考え、事務手続きやいろいろな事例演習を学習する。	2	60	4	0		0		0	
38		0	診療報酬請求 事務V	レセプト作成を迅速かつ正確に作成できるよう学習する。また、卒業後の実際の業務を考え、事務手続きやいろいろな事例演習を学習する。	2	30	2	0		0		0	
39		0	医療実務演習	調剤薬局、病棟クラーク、医療事務の仕事 をひと通り学習し、演習に取り組む。病院 見学をして医療実務の理解をより深める。	1 • 後	16	1	0		0		0	
40		0	調剤報酬請求事務	調剤報酬についての理解、薬の基礎知識や 薬の副作用などの知識を習得する。	2 · 前	60	4	0		0		0	
41		0	薬局・薬店店 舗実習	薬局・薬店での医療事務業務を体験し、55場での役割を理解する。	2 · 前	45	1		0		0	0	0
42		0		調剤請求事務について、コンピュータ処理 方法を学ぶ。	· 前	30	1		0	0		0	
43		0	病棟クラーク 演習	看護、患者を理解し病棟内の業務の円滑な 進め方を理解する。病棟内で扱う煩雑且つ 膨大な業務と書類の整理整頓の仕方を学 ぶ。	1 2	60	2		0	0		0	
44		0	小児コミュニ ケーション	子どもの発達段階や特質を理論的に理解する。	2 • 前	30	2	0		0		0	
45		0	小児発達	子どもの健全育成に関する基本的理論と実 践上の思考・知識について学習する。	2 · 前	30	2	0		0		0	
46		0	医 事 コ ン ピュータ演習 Ⅱ	医療事務コンピューダ検定2級の合格に質9 る力を身につける。	· 前	46	1		0	0		0	
47		0	プレゼンテー ション	相手に情報を伝えることは日常生活の中で必要不可欠なことである。この情報伝達をわかりやすく、より伝わりやすいように工夫する、その手法を学ぶことを目的とする。	2	30	2		0	0		0	

48 C			実務技能秘書検定2級合格に必要な知識を学習する。また、身に付けた知識を就職活動や社会人生活に役立てることができるようにする。	-	46	3	0			0			0	
	合	計	48	禾	計目		1. 71	5~	1. 805	単位	立(単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
教育課程の定めるところにより、修業年限以上在学し、教育指導計画 卒業要件:にしたがって授業科目を履修し、その成果が満足と認められたとき は、所定の会議の議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法: 対面及び遠隔授業等により、学則別表に定める当該学年に認定された 授業科目の全てを履修しなくてはならない。	1 学期の授業期間	15 週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。